



新たな発見が生まれる

郷土の歴史を学ぶ

伝統文化を継承する

気軽に自由に過ごす

# まち博へよう

飛騨高山  
まちの博物館

城下町高山の新しい交流拠点「飛騨高山まちの博物館」

その収蔵品を紐解くと、現在に生きるわたしたちと過去の先人たちの、刻を超えた出会いが待っています。

広報たかやまでは、収蔵品とそれにまつわるエピソードを紹介していきます。



金森氏時代の城下町  
絵図 松村梅幸筆  
図の左が北になります。城＝黄、武家地＝朱、町家＝灰、寺＝緑、川＝青、道＝赤で示されています。図中央下を横切るのは宮川です。

## 人の魅力、まちの魅力、高山の魅力

### 第四章 城下町高山

展示室④は、『城下町高山』をテーマにしています。

展示室の奥には、大きな「高山城復元模型」があります。金森長近によつて築かれたこの城の眼下、宮川と江名子川に挟まれた区域が城下町となりました。

東側高台を武家地、西側の低地を町人地と定め、城の北側には向かい合うように照蓮寺(今の高山別院)が置かれました。

高山城下では武家地よりも町人地が広いという特徴がみられます(「金森氏時代の城下町絵図」展示

中)。金森氏が街道を整備し、商業を重んじる政策をとつたためです。

また城下を支える周辺の農村も管理され、田畑・山林の面積などが絵図として残されています(展示中)。

元禄五年(一六九二)に幕府直轄領となりましたが、行政の一部は有力な町人に委ねられていました。これら町年寄と呼ばれた矢嶋・川上・屋貝の三家についても展示しています。

問合せ先

まちの博物館  
☎32-1205



### 利用のご案内

- ◆開館時間 展示室 午前9時～午後7時 / 研修室 午前9時～午後9時 / 庭園 午前7時～午後9時
- ◆休館日 無休(臨時休館有)
- ◆観覧料 無料
- ◆駐車場 空町駐車場(市民の方は2時間無料です※証明書要)  
〒506-0844 高山市上一之町75 ☎32-1205 FAX35-1970

新シリーズ

市長室  
だより①

対話から生まれる  
新しい高山を創る

高山市長 國島芳明

早いもので昨年9月、「市政の主人公は市民一人ひとり」の新しい高山を創るため、第10代の高山市長に就任させていただき、1年が経過しました。振り返ると1日が48時間あっても足りないくらい、ひたすら走り続けるあつと期間の1年だったと思っています。

さて、『市民と市長の対話集会』が先月20日の一之宮会場をもちまして、市内全21会場を終えました。会場からは市政に対する厳しいご意見もあった反面、今年「市政が変わった」「市には感謝している」とのご発言も頂戴でき、大変うれしく思っております。ご出席いただきました皆様にお礼申し上げます。

市政の主人公である市民の皆様が思い描く「新しい高山」を叶えるためには、市長である私が主人公である皆様ときちんと語り合うことが大切であると思っております。皆様のところにお伺いすること、ご提案を市政に反映すること、そして市の持っている情報や結果などを皆様にお届けすること、この「対話から生まれる三位一体の取組み」をこれからもきちんとしてまいります。

今後とも新しい高山を創るため、笑顔と元気が溢れるふるさとの未来を広げるために頑張りますので、どうぞよろしく願います。